



共通教育科

田中 健一 教授

【研究分野】
【キーワード】
【U R L】

生理学、神経精神薬理学、病態生化学、実験心理学
医薬品、健康食品、セルフメディケーション、適正使用、薬害を含む有害事象
<https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=255tana>



あなたの知らない“お薬”の世界

研 究 概 要

私達にとって身近な存在である“お薬（医薬品）”が生体内で作用を発揮するメカニズムを理解することは重要です。一方で、目の前の患者さんに対して多くの医薬品の中から最も適切な医薬品を選択し、最善の薬物治療を行うことが医療における目的と考えられます。また、近年では増大する医療費対策として、自分で症状を理解し、適切な医薬品等を選択し、症状を改善させる「セルフメディケーション」が推奨されているものの、実際に適正に行うことは難しいとされています。そこで、身近で興味深い医薬品を適正使用するための理解を目指します。

研 究 紹 介

医薬品等の適正使用に関する研究：健康食品等を含む医薬品等の有効性と有害性について、多彩な研究手法を用いて検証することで、適正・適切な「セルフメディケーション」とは何か、提案したいと思います。

講 座 テーマ 紹 介

医薬品等の基本的知識の習得と適正使用を目的とした講演・研修会等の実施：医薬品を一度も服用しない人は恐らくいないと思います。一方で、案外知らない医薬品に関する話題や課題を分かりやすく紹介することで、医薬品の基本的な知識を学び、安心・安全に医薬品を服用できるように学ぶことを目標とします。また、副作用・乱用・薬害等に注目することも可能です。

“お薬”を飲む上で注意して欲しいこと！

- ☆飲む前に薬剤師や医師に伝えてほしい
 - ⇒なぜ必要なのか、具体的な症状等
 - ⇒現在服用中の“お薬”の有無
 - ⇒アレルギーなど副作用歴
 - ⇒その他、留意して欲しいこと（不安なこと、気になっていること等）
- ☆適切な用法用量を守ること
 - ⇔ 『飲み忘れ』に注意！！
- ☆服用後に気になること
 - ⇒副作用の出現、症状が治らない、等、どんなことでも！遠慮なく！

アピールポイントなど

中高生、一般市民、養護教諭・特定保健指導者等専門家、等の対象に合せた講演や研修会の実施が可能です。話の内容も、いわゆる医薬品に限らず、サプリメント等の健康食品や毒物等、応用編も可能なので、例えば、感染症のお薬を中心に話して欲しい、健康食品について話をしたい等、ある程度、アレンジすることは可能です。